山梨に移住してもうすぐ丸3年。 キララの学校に関わ らせていただいて、まだ2年ほどの私。 はじめはキララ のパンフレットやホームページなど広報関係だけでした が、徐々に子どもといっしょに行動させてもらえるように なりました。「子どもたちに何かあったらどうしよう」と内 心かなりハラハラ…ご飯つくって、おふろつくって、そう じして…何人も一度に話しかけて来る日々…で毎回へト へト(はじめて参加したときは、終わった後、数日寝込み ました…)なのですが、子どもたちと過ごすのはうれしい ひとときでもあります。 でも、これが毎日続いたら…世 のお母さんたちを心から尊敬します。

私に子どもがいないせいでしょうか? 毎回、ハッとする 出来事の連続です。 思い出すたびに笑ってしまうような ことや、泣けてくること、時には考えさせられることもあ り、刺激に満ちています!

やってくる子供たちは、みな元気いっぱいですが、アレ ルギー体質の子がいつも数人います。スギ花粉はもち ろん、ハウスダスト、卵や乳製品などアレルゲンはさまざ ま、症状やその程度もさまざまですが、小学校高学年ぐ らいになると、子ども自身が自分の体調を自己管理して いることがあり、驚きます。ほこりっぽい部屋をさけたり、 何をどれだけ食べたら調子が悪くなるか経験的に知って いて、自分の体調と折り合いをつけながら過ごしている …大人でもなかなかできないことです。 でもそれは、そ の子がアレルギーとそれなりに長い間つき合ってきた証 なのかも知れないと思うと複雑です。

春の学校での食事の時間に、少しアトピーのある子ど もがぽつりとひとこと~「ここのご飯を食べていると体調

いいんだ」。よくよく聞いてみると、売っている食べ物や 加工食品を食べて、体調が悪くなることがあるらしい。 そして、キララの学校で食事をしているここ数日、調子が いいのだそう。

キララの学校での食事は、基本手づくり。 食材は、白 州郷牧場の有機無農薬栽培の野菜、平飼い鶏の卵とその 母鶏の鶏肉、それ以外も、なるべく素性のはっきりしたも のを使い、水は白州の井戸水。 食べ物だけでなく空気や 環境も違います。 そういう体質の子どもは、自分の体感 ではっきりと違いを感じるようです。

最終日前夜の「明日でさよなら会」でのおやつはシュー クリーム!甘いものに飢えていた子どもたちは大喜び。 前述の子も「ちょっと症状でちゃうけど、せっかくだし、今 日は食べる!」と言って、美味しそうにクリームをなめて いました。自分の体調を熟知していて、自己責任で食べ るかどうか判断している彼女。なんて頼もしいんだろう。 身体に悪いとわかっていても、こういうのも、たまには食 べたいよねぇ。うんうん。みんなといっしょにシュークリー ムをほおばる彼女を見て、ホッとするようななんとも言え ない気持ちになりましたとさ。

春もたけなわ、そろそろおけらがジワーっと大合唱を はじめる頃です。そして、もうすぐキララゴールデンウィー クの学校がはじまります。

次回は、きょうだいで参加している子どもたちについて 感じたことをご報告します。兄と妹、姉と弟、兄弟、姉妹、 双子…「きょうだいは他人のはじまり」と言いますが、子ど も時代は誰よりもそばにいるライバルであり、憎らしいこ ともあるけれど、やっぱり愛しい存在なのだなぁと思うよ うなエピソードがいっぱいです。

(織田 淳子)

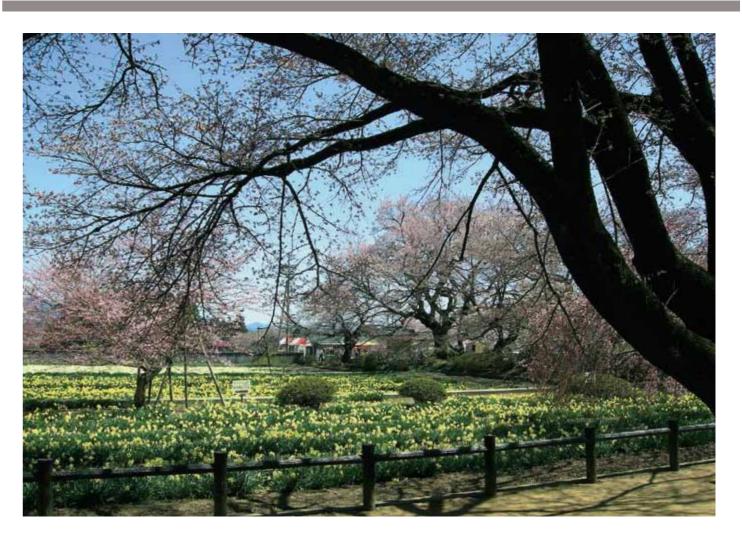


Letter From Hakusyu 「書を読み、自然に親しみ、勤労にいそしむ」

●白州だより

白州郷牧場から春のおたよりをお届けします!

2015年4月20日 二十四節気 穀雨 山梨県北社市白州町横手 2259 TEL: 0551-35-4520 FAX: 0551-35-0132



神代桜

白州郷牧場グループ代表 椎名 盛男

世界は大きな混沌に包まれだした気がする。世界は 大乱の予兆に包まれだした。

それは、遠いアラブのことでなく、わが国やアジアで もはじまるだろう。

若い時のように、知性はしなやかでなく、思考の重み にも耐えられない今となっては、世界は見えないし、わ かりもしない。

ただ、安倍政権がきわめて愚かで危険そのものの存 在になったのは察知できる。

日本が今、求められているのは、貨幣を介さない経済 活動だろう。「地方創世」とは地方にわずかに息づいて いる非市場経済の息の根をとめることだろう。政府、自

治体、大企業主導で、中間共同体の活動を押さえ込む ことなのだろう。

もう日本は、生きるために必要な財とサービスは賃金 労働で得た金で購入しなければならない仕組みをがっ ちり絡められている。 かと言って、労働力を売るだけで は、もう食べては行けないし、家族も持てないところま で追い込められている。

安倍買弁軍団は、国家国民の利益を踏みつけにした まま、もう一度、日本を破局へともっていくのだろう。

2015.4.12



キララ春の学校日程

3月30日 (月)

3月31日 (火) 6:00 起床

7:00 朝の散策

朝食~朝の散策で集めた 卵でたまごかけごはん

野草つみ~ セリ、ノビル、つくし、 ふきのとう、よもぎ、 野カンゾウ、タンポポ

昼食~カレーうどん

薪割り/野草の処理

おふろ

開校式

鹿の解体

卵とりと牛の世話

おふろ

夕食~カレー

自己紹介

7:00 朝の散策

6:00 起床

朝食~朝の散策で集めた 卵でたまごかけごはん

4月1日 (水)

白州シアター 「アラバマ物語」

もちつき

昼食~草もち

郷土資料館

夕食~野草料理と鹿肉料理

今日のキララ ~今日を振り返って絵にする

おふろ

夕食~ミンチボール 鹿肉ソテー けんちん汁 おひたしとサラダ

~今日を振り返って絵にする

4月2日 (木)

4月3日 (金)

朝食~朝の散策で集めた

卵でたまごかけごはん

片付け・荷造り・作文

昼食~おにぎり弁当

6:00 起床

閉校式

7:00 朝の散策

6:00 起床

7:00 朝の散策

朝食~朝の散策で集めた 卵でたまごかけごはん

遠足のお弁当づくり

神代桜へ遠足

昼食~桜の下でお弁当

神代桜から、牧場まで歩いて帰る!

おふろ

夕食~他人丼、卵スープ

さよなら会

今日のキララ ~今日を振り返って絵にする

☆ 遠足~お花見

樹齢二〇〇〇年といわれる神代桜がちょうど見ごろ、と いうことでお花見をしに遠足をしてきました。 片道7km ほどの道のりですが、遠足なのでもちろん歩きです。リ タイアする子が続出するんじゃないかと心配しましたが、 みんなしっかりと歩き切りました。 お昼ごはんは桜の木 の下で、おにぎりや鶏の手羽先、ゆでたまごの塩麹づけ をいただきました。 桜はちょうど満開、スイセンの黄色 も鮮やかでした。

北 鹿の解体

中山間地域では鹿による畑への被害が深刻になってき ています。といっても、シカだって生きるのに必死です。 害獣として駆除するだけはでなく、その生命も粗末にし ないような形が必要になってきています。 猟師の井上さ んがシカの解体を見せてくれました。子どもたちは拒否 反応どころか、興味津々で見つめていました。「皮はどう するの?」「内臓は?」と質問する子、「角がほしい!」とはしゃ ぐ子もいました。夕食でシカ肉料理を出すと、みんなお いしそうに食べていました。

♪ 野草とり~野草料理

赤羽かしこさんが今年も野草とりに連れて行ってくれま した。フキノトウや野カンゾウ、つくしやセリ、ヨモギ。 ぽかぽかとした陽気にも恵まれて、今年も春の味覚がた くさん採れました。その日の夕食では、野カンゾウの酢 味噌和え、ツクシの玉子とじ、セリやふきのとうの天ぷら が食卓を彩りました。ヨモギは翌日のもちつきで、草も ちになりました。この時期にしか味わえない贅沢を満喫 しました。

☆ 玉子とり・牛の世話

キララの学校朝は玉子とりからはじまります。 森を抜 ける道をゆっくり歩きながら鶏舎に向い、産みたてタマゴ をとって、牛の餌やりをして、それから朝食になります。 朝食には必ず自分たちで集めた玉子がでてきます。つ いさっきまでニワトリのお腹であたためられていた玉子で す。食事と命のつながりを、言葉ではわからなくても、 カラダで感じてもらえたらと思っています。

(内藤 光)

里山から見える世の中の風景

「日本国憲法、って何が書いてあるか知ってる?」 「日本の基本方針…」

「(おっ、わかってるじゃん)」

先日、牧場の若手スタッフを集めて憲法についての勉強会をした時の冒頭のやり取り。20代前半の独身女性二人と30代前半の独身男性一人の3名に集まってもらい、講師役は、不肖・私が務めました。この勉強会は、牧場役員の見田さんの発案でした。勉強会を設定するにあたり、椎名代表、見田さんと僕でいろいろ話したのですが、『自分たちの生活は社会と切り離して考えることは出来ない』ということを少しでも感じてもらわなきゃならない僕なり、開催目的をこんなふうに受け止めて、講師役を引き受けることにしました。そして、冒頭のようなやり取りで勉強会は始まりました。

集まったメンバーにどこまでの知識があるのか、全くわからず手探りで始めたわけですが、まず「日本国憲法」の存在と最高法規という認識は持っていたようです。 一安心。 なので、予定通り、「日本国憲法の三原則」を取り上げることにしました。 尋ねてみると、何となく聞いたことはあるふうでしたが、きちんと答えてはもらえませんでした。

「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」 そして、それぞれについて、出来るだけわかってもらえる ように話をしてみました。

国民主権: 今日、話題にしている憲法も、多くの国民が変えたいと思えば変えられるということを伝えました。 そして、いま日本では、現実に変えようという動きがあることも伝え、本当に変えてもいいのか、変えるなら何を残し、何を変えるべきなのか、自分たちのこととして考える必要がある、とも伝えました。

基本的人権の尊重: 国民主権のところでの話では「ふ ~ ん」っていう感じだったので(笑)、ここで、自分たちの 生活と憲法が実はつながっているということを少しでも感じてもらいたいと考えました。 都会に出ることも、故郷に戻ることも、牧場で働こうと決めることも、すべて自ら の意思で決められる。 自由に選択できる。 これは、実は

当たり前ではない、と伝えました。 突き詰めれば、憲法によって保障されているんだよ、と伝えました。 将来、結婚の相手も自分で決められないのは、まずいでしょ、 お風呂の中をのぞかれても文句も言えないのはまずいでしょ、とも。 世界には、自分たちが当たり前と思っている自由も保障されていない人たちがいる、ということも忘れないように伝えました。

平和主義:「日本は戦争しない国」これは、みんな何となく知っていました。これも、憲法で決めていること。当り前じゃないということを伝えました。この点に関しては、先の戦争経験者である大正14年生まれの方のインタビュー記事の読み合わせと、大正7年生まれの私の父からの伝え聞きを行いました。要約すると、「戦争」って大多数の国民は望んでいないことがほとんどで、国民の知らないうちに始まっちゃって、国民が一番つらい思いをする、っていうことを伝えました。

という感じで話をしてみました。

どこまで伝えられたかは、これから感想文を書いてもらうことになっているので、それを楽しみに待ちたいと思いますが、「社会と自分はつながっている」というふうに感じてもらうための第一歩と、僕は考えています。

全二回、最終回はこの次です。 見田さん推薦の書籍 を読んでもらい、それぞれ関心があった部分を発表し合いながら、フリートークをしてみようと目論んでいます。 また、本紙面で報告したいと思います。

特定秘密保護法による情報統制の拡大、集団的自衛権 行使容認による戦争参加への懸念、権力者による言論へ の圧力介入の疑念、等々。 平和を礎とした自由で公正な 日本社会の変質を感じているのは、僕だけだろうか。 な どと考えながら、これからも里山で汗を流しながら、山の 向こう側にある世界の動きを考えていきたいと思います。

雨が多く、おひさまもなかなか顔を出してくれない肌寒い春が続きましたが、ようやく本格的な春らしい気候になってきました。 なので「汗を流しながら」というよりも、「大汗をかきながら」っていうことになりそうです (^_^;)

(こさい たろう)

ガーデン・ポタジェ 2015

昨年にひきつづき、今年もガーデン・ポタジェ計画がスタートしました。 圃場面積が昨年の3倍以上!になり、今年は牧場でつくっている作物の展示圃場も作ることに。「セット野菜に季節の草花が入っているのもいいじゃないか」という会議での椎名社長の言葉がとても印象に残りました。 野菜といっしょに季節のたより。 素敵なイメージです。 礒田さんの設計図も出来上がってきて、今年は少しゆったりとした配置。 そして、種まきが4月中頃からスタートしました。 旧暦だと、今年は夏が短いそうなので、去年度よりも前倒しで計画を進めなくてはなりません。 慌ただしくなりそうです。

種まきはワクワクする仕事ですが、「芽が出なかったらどうしよう…」と多少の緊張感もあります。昨年、パクチーの発芽率がとても悪かったので、今年は周到に調べてから種まきしました。パクチーは固い殻の中に種が2個入っ

手前が昨年度の圃場、中ほどの広い1区画、奥の2段になったところの全部で3区画が新たに増えた圃場です。

ており、殻を割ってまいてやらないと発芽しづらいのだとか。 他にも種によって浸水処理や低温処理(水につけて数日冷蔵保存、牧場では生物活性水原液に浸水)が必要なもの、朝顔の種のように種に傷をつけてやらないと発芽しづらいもの、いろいろです。 種まきの事前処理の違いでどれぐらい発芽率に影響があるのか~さまざまな植物での発芽試験の結果をインターネットでたくさんの方が公開しています。 育てた環境や時期の違いなど考慮しなくてはなりませんが、とても参考になります。

昨年は初年度だったこともあり、手探りでしたが、今年度は昨年の記録があります。 たった 1 年分の記録です。 参考資料としてはそれほど価値はないかもしれませんが、何にも無いよりは心強い! ちゃんと記録をとっておいてよかった…農業ど素人のつぶやきが続きます(笑って聞いてくださいね)。

昨年は、マリーゴールドなど花やハーブ類のコンパニオ

ンプランツとしての効能も実感することができました。 今年度も野菜と共に植えて、薬を使わない農業を助けて もらいます。香りや彩りも添えてくれるので、畑が華や かになるのもうれしい効能。 それぞれ特徴のある薬効成 分を持っている植物たち。動物と違って、病気になったり ケガをしても、安全な場所に移動したり、大声を出して助 けを呼ぶこともできないので、自分自身が強くなるために 体内で薬効成分をつくりだせるように進化していったとい う説があります。鳥や虫に食べられた経験を持つ植物は、 世代交代して行く中で、補食者に対抗するため毒性を持 つことあるそうです。 その「毒」がアロマテラピーなどで 活用される薬効成分で、人間にも恩恵がある訳ですが、 使用方法を誤ると有害。 まさに毒と薬は背中合わせ。

(織田 淳子)



(5)

